

事務事業評価シート(平成22年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		こども未来課	越川昌信	橋間正文
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
青少年育成センター事業		新規	年度	年度
		○ 継続	○ H20以前	○ 未定
事務事業の体系				
計画掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 1 のびのび育とう、育てよう	
	個別計画	(基本計画) 「子育てするならこの町」といえるまちをめざす		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分 (該当する区分に「○」)		
青少年問題審議会及び地方青少年問題協議会設置法		○ ソフト事業	施設の維持管理	
		義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業	計画などの策定	
青少年問題協議会、青少年育成センター運営協議会、防犯グループ連絡協議会の開催。		補助金の支給	有 ○ 無	
		委託	全部委託	一部委託
		○ 委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
委員	町民	青少年の健全育成のため、指導等について各機関との連絡調整を図る。

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>				会計名	一般	会計
細目名	青少年育成事業	細目名		細目名		
予算コード	款 項 目 大事業	予算コード	款 項 目 大事業	予算コード	款 項 目 大事業	
	10 6 1 1					

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	21年度 決算	22年度 実績(見込)	23年度 計画	備考 (全体事業費など)
総コスト			5,180	4,401	4,378	
コストの内訳	直接事業費	千円	1,724	304	300	
	所属内間接費		52	63	70	
	人件費		3,404	4,034	4,008	
	投入人員	人/年	0.36	0.36	0.34	
	正職員 嘱託員		0.36	0.30	0.30	
財源内訳	国・県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	千円	3,554	4,401	4,378	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 見込	22年度 目標
1	青少年問題協議会	協議会・連絡会の開催による	青少年問題協議会	回	2	2	3
2	青少年育成センター運営協議会		青少年育成センター運営協議会	回	2	2	3
3							
4							
5							

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action> 青少年育成センター事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など)									
今年度より、青少年育成センター所長に警察OBの方を配属され、青少年の非行及び防犯等にセンターとしての機能が整いつつあるので今後もこの体制で継続できれば。 インターネットや携帯電話を利用して青少年が犯罪やトラブルに巻き込まれたりネットいじめ、誹謗中傷などを早期発見、早期解消するためにネット等の監視活動が出来れば。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)									
警察OBの松田所長が着任し、警察と連携したよりきめ細やかな対応が可能となった。また、21年度より相談専門員として吉田室長を配置し、相談業務を充実させている。今後もこの運営状態を継続していきたい。 ネットを使ったいじめ等の事例が出てきて、この分野に対応できる職員を増強したい。									
所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	内部評価		3
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか)									
子どもの安全確保をより充実させるよう、現状のまま継続する。									
事業評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了			
評価委員コメント									
現状のまま継続されたい。									

(ソフト事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [青少年育成センター事業]			
成果指標(意図の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 実績(見込)	23 年度 目標	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
青少年悩み相談	件	183	115	130	

7 事務事業の事後評価 <Check>				(ソフト事業)					
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題	
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは	○ 高い	○ 高くない	把握なし				
		緊急性は	○ 高い	○ 高くない					
		利用者・対象者数は	○ 増加	○ 減少	横ばい				
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は	○ ない	○ ある	把握なし				
	町の関与 の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	○ ない	○ ある					
		国や県の事業(サービス)との重複は	○ ない	○ ある					
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は	○ ない	○ ある					
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	○ ない	○ ある					
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	○ ない	○ ある	把握なし				
	連携の 可能性	他課で類似の事業は	○ ない	○ ある					
		他の事業と統合できる可能性は	○ ない	○ ある	あるが困難				
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は	○ ない	○ ある	あるが困難				
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は	○ ない	○ ある	あるが困難				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	○ ない	○ ある					
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	○ ない	○ ある					
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	○ ない	○ ある					
		受益者負担を見直す余地は	○ ない	○ ある					
有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで	○ ある	○ ない					
		前年より成果が上がって	○ いる	○ いない	横ばい				
	持続の 可能性	継続することによる効果は	○ 高い	○ 高くない					
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	○ いる	○ いない	○ 測定困難				
		事業の休・廃止による住民への影響は	○ 大きい	○ 大きくない					
市場化の 可能性	既に全部委託済		更なる委託化が可能である		○ 委託化の余地があり		○ 委託化は不可能		
	市場化テストの導入について検討する余地がある			○ 市場化テストの導入を検討する余地はない					
改善の可能性			1.改善の余地はない			○ 2.改善の余地がややある			
			3.改善の余地が多い			4.抜本的な見直しが必要			